

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品コード)	: アクアエム (記号: AC-M・品番: V606)
会社名称	: 株式会社 和光ケミカル
住所	: 神奈川県小田原市南鴨宮 1-1-1
電話番号	: 0465-48-2211(代)
FAX 番号	: 0465-49-1951
緊急連絡電話番号	: 技術部(電話: 0465-48-8114)
推奨用途及び使用上の制限	: 産業車両・建設機械・工作機械・車両の下廻り等の油やグリースの汚れ、コンクリート床面(カラーコンクリートを除く)の洗浄用【業務用】
作成日	: 1997年12月1日 (2022年4月1日 改訂第17版)
整理番号	: V606-J17

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	皮膚腐食性/刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
	呼吸器感受性	区分1
	皮膚感受性	区分1
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2(神経系、肝臓)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(神経系、精巣、消化管、肝臓、腎臓、呼吸器)
	※記載のないものは区分に該当しないまたは分類できない	

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

- H314: 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷
- H318: 重篤な眼の損傷
- H334: 吸入するとアレルギー、喘息、又は呼吸困難を起こすおそれ
- H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- H361: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
- H371: 神経系、肝臓の障害のおそれ
- H373: 長期にわたる、又は反復ばく露による神経系、精巣、消化管、肝臓、腎臓、呼吸器の障害のおそれ

注意書き

【安全対策】

- P201: 使用前に取扱説明書や、商品に関する資料・表示内容等を確認すること。
- P202: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P260: ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- P264: 取扱後は水や湯で手をよく洗うこと。
- P270: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- P272: 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- P280: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- P284: 【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。

【応急措置】

- P301+P330+P331: 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- P302+P352: 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
- P303+P361+P353: 皮膚(又は髪)に付着した場合、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
- P304+P340: 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P308+P313: ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に診察/手当てを受けること。
- P305+P351+P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P310: 直ちに医師に連絡すること。
- P314: 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること
- P333+P313: 皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- P342+P311: 呼吸に関する症状が出た場合: 医師に連絡すること。

- P362+P364：汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

【保管】

- P405：施設して保管すること。

【廃棄】

- P501：内容物/容器を国際条約や国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

- 2-アミノエタノール 1.0 wt.% 未満
- POE-POP アルキルエーテル 企業秘密の為記載できない
- 高級脂肪酸塩 企業秘密の為記載できない
- 無機塩 (炭酸塩・ケイ酸塩) 企業秘密の為記載できない
- グリコール類 企業秘密の為記載できない
- ポリアクリル酸塩 企業秘密の為記載できない
- 水 企業秘密の為記載できない

危険有害成分及び含有率：

化合物名	CAS-No.	官報公示整理番号(化審法)	労働安全衛生法(政令 No.等)	PRTR 法	含有率 (wt.%)
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	112-34-5	(2)-422 (7)-97	224-3	非該当	1~10
2-アミノエタノール	141-43-5	(2)-301	21	非該当※	1.0 未満

※第1種指定化学物質(1種-20)だが、含有濃度はPRTR法対象に満たない

4. 応急措置

- 眼に入った場合：直ちに流水で15分以上洗浄する。コンタクトレンズなど容易に外せる場合は外す。目の刺激が持続するときは、速やかに医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合：直ちに大量の水で十分に洗い流す。付着した衣類は脱がせる。
- 飲み込んだ場合：直ちに口を多量の水で洗浄し速やかに医師の手当てを受ける。無理に吐かせてはならない。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- ：速やかに火源から遠ざかる。水溶液のため着火、燃焼はしないが、水分蒸発後の残留物は燃焼することがある。
- 消火剤：本品は可燃性ではないが、周辺火災の状況により泡、粉末、炭酸ガスなど
- 特有の危険有害性：本品は可燃性ではないが、火災によって刺激性、毒性、または腐食性のガスを発生するおそれがある。

6. 漏出時の措置

- 少量の場合：必要に応じて保護具を着用し、おがくず、土砂、ウエス、紙等に吸着させて、空容器に回収する。その後、漏出区域周辺を多量の水で洗浄する。洗浄した水などは、地面や排水溝などにはそのまま流さない。
- 多量の場合：保護具を着用し、土のうなどで流出を防ぎ、ポンプ、ひしゃくなどで空容器に回収する。風上にて作業を行う。
- 河川や一般排水溝などに排出しないように注意する。
- 廃棄物は関連法令に基づいて処理する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

- 取扱い：眼、皮膚及び作業着との接触を避ける。  
スプレー状で使用する時は、風上に立って作業する。  
取扱い後は手洗い洗顔を十分に行う。
- 保管：直射日光を避け、子供の手の届かないところに口栓をきちんとして保管する。  
直射日光、温度40°C以上又は氷点下、水の掛かる場所、湿気の多いところを避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

※Inhalable Fraction and Vapor

化合物名	CAS-No.	管理濃度	ACGIH TLVs		日本産業衛生学会 TLV
			TWA	STEL	
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	112-34-5	—	10 ppm (IFV)※	—	—

設備対策：取扱場所の近くに洗眼及び身体洗浄の設備を設け、その位置を明確に表示する。

保護具 : 必要に応じて、有機溶剤用防毒マスク、保護眼鏡、ゴム手袋、ゴム長靴、ゴム前掛け等を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

外觀等 : 淡緑色透明液体で、弱い特異臭を有する。  
 pH (25°C) : 12.0~12.5  
 粘度 (25°C) : 5.0 mPa·s  
 沸点 : データなし  
 揮発性 : 水に近似  
 凝固点 : -5°C以下  
 比重 (25°C) : 1.029~1.033  
 引火点 : なし (Tag 密閉)  
 爆発範囲 : データなし  
 溶解度 : 水と自由に混和する。

10. 安定性及び反応性

安定性、反応性 : 熱、光、衝撃に対して安定である。  
 アルカリ性であるため、酸性物質と中和反応が起こる。  
 避けるべき物質 : 知見なし

11. 有害性情報

製品としてのデータなし。以下に成分毎の有害性情報を示す。  
 記載無きものは GHS 分類でカットオフ値以下のものか、知見なし、あるいはデータなし。  
 急性毒性(経口) : 現在のところ有用なデータなし  
 急性毒性(経皮) : 現在のところ有用なデータなし  
 急性毒性(吸入) : 現在のところ有用なデータなし  
 皮膚腐食性/刺激性 : 11.5 < pH であることから、区分 1 と判断した。  
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 11.5 < pH であることから、区分 1 と判断した。  
 呼吸器感作性 : 成分および組成より区分 1 と判断した。  
 皮膚感作性 : 成分および組成より区分 1 と判断した。  
 生殖細胞変異原性 : 現在のところ有用なデータなし  
 発がん性 : 現在のところ有用なデータなし  
 生殖毒性 : 成分および組成より区分 2 と判断した。  
 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 成分および組成より区分 2(神経系、肝臓)と判断した。  
 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 成分および組成より区分 2(神経系、精巣、消化管、肝臓、腎臓、呼吸器)と判断した。  
 誤えん有害性 : 現在のところ有用なデータなし

12. 環境影響情報

製品としてのデータはない。成分ごとのデータおよび GHS 区分より判定した。  
 記載無きものは GHS 分類でカットオフ値以下のものか、知見なし、あるいはデータなし。  
 生態毒性  
 水生環境有害性 短期 (急性) : 成分および組成より区分に該当しないと判断した。  
 高濃度で排出した場合、植物や水生生物に対し一過性の影響が考えられる。  
 水生環境有害性 長期 (慢性) : 現在のところ有用なデータなし  
 残留性・分解性 : 現在のところ有用なデータなし  
 生体蓄積性 : 現在のところ有用なデータなし  
 土壌中の移動性 : 現在のところ有用なデータなし  
 オゾン層への有害性 : 現在のところ有用なデータなし

13. 廃棄上の注意

1. 事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
2. 投棄禁止
3. 埋め立て処分を行う場合には、あらかじめ焼却し、その燃え殻について下記の物質が総務省で定めた基準以下であることを確認しなければならない。  
 銅またはその化合物、亜鉛またはその化合物、ふっ化物、アルキル水銀化合物、水銀またはその化合物、ヒ素またはその化合物、六価クロム化合物、有機りん化合物、鉛またはその化合物、カドミウムまたはその化合物、シアン化合物、PCB。
4. 燃焼する場合は、安全な場所で、かつ燃焼または爆発によって他に危害または損害を及ぼすおそれのない方法で行うとともに、見張り人を付けること。

5.廃棄時における関係法規

- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令
- ・ 危険物の規制に関する政令
- ・ 金属等を含む産業廃棄物に関する判定基準を定める環境省令

14. 輸送上の注意	注意事項	: 容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下損傷が起らないように積み込む。 : 荷崩れの防止を確実に進行。 : みだりに転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴の取り扱いをしない。 : 天地を逆転しておかないこと。 : 温度差の少ない冷暗状態にて輸送する。	
	国連規制	: 国連番号…該当なし : 容器分類…——	国連分類…分類基準に該当しない 指針番号…——
	国内規制	海上輸送に関してはIMO、航空輸送に関してはICAO/IATAの規定に従う : 陸上輸送…消防法、安衛法などに定められている運送方法に従う 海上輸送…船舶安全法に定められている運送方法に従う 航空輸送…航空法に定められている運送方法に従う	

15. 適用法令	労働安全衛生法	: 危険物(令別表第1)に該当しない 法57条 政令18条 第1号 別表9に該当する成分を含有する。 表示対象濃度以上…ジエチレングリコールモノブチルエーテル 通知対象濃度以上…2-アミノエタノール 有機溶剤中毒予防規則(施行令別表6の2)に該当しない	
	化管法(PRTR法)	: 非該当 第1種指定化学物質(2-アミノエタノール)を含有するが、濃度はPRTR法対象に満たない	
	毒物及び劇物取締法	: 対象外	
	消防法	: 危険物に該当しない	
	船舶安全法	: 非危険物(個別運送及びばら積み運送において)	
	航空法	: 非危険物	
	海洋汚染防止法	: ばら積み貨物でないので製品としては非該当	

16. その他の情報	RoHS 指令有害物質	: いずれも意図的な含有なし	
	ELV 指令有害物質	: いずれも意図的な含有なし	
	引用文献	: ①原料メーカーSDS・MSDS ②製品評価技術基盤機構ホームページ ③法律に関するホームページ	

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として提供されるものです。取扱者はこれを参考とし、自らの責任において個々の取扱いの実態に合わせた処置を講ずることが必要であり、これを理解した上で活用して下さい。従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。